

喜志小だより

平成31年 2月号
富田林市立
喜志小学校

メイク・ハート



過渡期

校長 西山 正人

早いもので、私が喜志小学校に赴任させていただいてから5年目の終わりが近づいてきました。赴任当初、482名だった全校児童も、来年度には400名を下回りそうなところまで減少しています。また、来年度は、新学習指導要領の完全実施に向けての「移行期」となります。例年以上に、喜志小学校の教育活動についての振り返りと改善が必要と思われます。いろいろ変わっていくという点では、「過渡期」という言い方も当てはまりそうです。

喜志小学校の伝統の1つとなっている「6年生のミュージカル」については、毎年のようにどうしていくかを検討していました。学年の児童数が減少していくこと、指導と練習に多くの時間を要すること、大阪芸術大学からのサポートを受けることが難しくなっていること、上演のためにかなりの費用が必要なこと、シナリオ作りや準備が大変なこと、等の課題があるからです。特に、児童数の減少については避けられないことで、これまでの規模を維持していくことが不可能になるというのは、全職員的一致した見解でした。

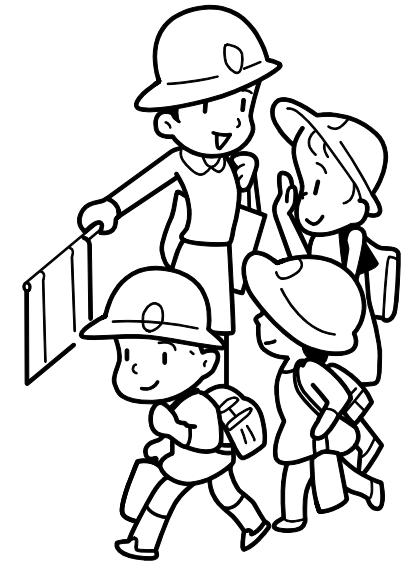
そんな中、大阪芸術大学から高価な機材をお借りすることが、今年度の日程ではかなり厳しい状況となっていました。また、外国語活動の時間数が増えることや学習指導要領の改訂に伴う授業改善に向け、練習時間数にも制約が大きくなっていくという状況に対して、何とか解決策を探る中で、秋の芸術鑑賞のために来てくれる劇団の方に相談してみてもということになりました。費用は発生するものの、「学校の体育館での上演に対してのノウハウもあるので協力できますよ」という回答をいただくことができました。今までのような照明や音響による演出はできなくなるかもしれませんが、自分たちのペースで練習計画を作ることが可能になりました。なんとか課題の一つはクリアできました。しかしながら、まだ課題は残っています。更に検討を重ねながら、子ども達の成長と思い出づくりにつながる取り組みとして、音楽発表や学年劇といった形に変えながら続けていきたいと考えています。ご理解ご協力のほど、お願いいたします。

「移行期」「過渡期」として、更に授業改善の取り組みをすすめていくことや校外学習等の学校行事の見直しも必要となっています。喜志小学校の教育をより良くしていくために、知恵を出し合っているところです。

☆頭の痛い問題

喜志小学校区には、たくさん見守り活動をしてくださっている方々がおられます。中には、町会でメンバーを募ってくださっているところもあります。しかしながら、校区として活動を始めていただいて10年以上が経過し、困った問題が出てきています。それは、見守り活動をしてくださっている方々の中に、高齢のため活動ができなくなってしまわれる方が出てきているという問題です。

今は、定年の年齢になっても年金は全額支給されません。そのため長く働かれる方が多くなっています。また、共働きのご家庭が多く、保護者のみなさんによる「旗当番」にも限界があります。喜志小学校の子ども達が、安全に登下校できる環境を守っていくには、学校や家庭が努力することと地域のみなさんの力をお借りすることが不可欠であると思っています。PTAの本部役員さんや地区委員さんで、次年度に向けて検討していただいたり、当番表を作成したりしていただきます。今年度分は5月まで続きますので、まずはそちらへのご協力をお願いします。また、ご近所で見守り活動にご協力いただける方はおられませんでしょうか？子ども達のためにお力を貸して下さる方がおられましたら、ぜひご紹介ください。



☆少しずつ流行が...

今シーズンは、例年より出足が遅かったように思われるインフルエンザの流行ですが、1月半ば以降少しずつ喜志小学校でも聞かれるようになってきました。とうとう学級閉鎖になるクラスも・・・先月の学校便りにも書かせていただきましたし、全校朝会の折に健康安全担当の教員からも子ども達に話をしましたが、改めてもう一度お知らせします。

予防のポイントは病原体を体に入れないことと、体の抵抗力を高めることです。不要不急の外出を控え、人ごみの中ではマスクをつけ外出から戻ったらうがいをする。しっかり栄養をとって、十分休養する。こういったことが予防につながります。よろしくお願いします。

☆お知らせ

1月8日より、西田 裕彦が本校で勤務することとなりました。3・4年生の算数少人数を中心に指導を行っています。お知らせが遅くなって申し訳ございません。

喜志小ギャラリー



上の写真は、今年度から特別の教科となった「道徳」の授業風景（3年1組）です。年間35時間行います。教科書の資料を使って、子ども達に考えさせたり話し合わせたりしながら、身に付けてほしい内容について学習します。

下の写真は、「外国語活動」の授業風景（6年3組）です。3・4年生が15時間、5・6年生は50時間の授業となっています。ALT（外国語助手）の先生の手も借りながら、学級担任が授業を進めていきます。1・2年生でも行っています。コミュニケーション能力も高めたいと考えています。